

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	イーハートブ養育センター			
○保護者評価実施期間	令和6年12月20日	～	令和7年1月17日	
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	45	(回答者数)	45
○従業者評価実施期間	令和7年1月6日	～	令和7年1月17日	
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数)	13
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年1月31日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	発達や特性に合わせ、構造化された環境作りや支援の提供をしています。子どもや保護者のニーズに配慮した個別支援計画を基に支援の提供をしています。	定期的に職員研修を行う等、職員のスキルアップを図っています。また、必要に応じて、個別支援会議の機会を持ち、支援の統一化を目指しています。	今年度も保護者の協力をいただき、研修の機会を作ることができました。今後も職員のスキルアップを図るために研修の機会を作っていきます。また、外部研修へも積極的に参加していきたいです。
2	地域の中核となる児童発達支援センターとして、地域の保育園、幼稚園、こども園をはじめ、関係機関との連携を密にとり、地域で育つ子どもたちに必要な支援を提供します。	関係機関と連携した支援会議を積極的に行っています。当センターの行事等に関係機関を招待し、活動の様子から情報共有をし、地域での支援体制を整えることを目指しています。	関係機関を施設内研修にお招きする等、地域全体でお子さんをサポートする体制を整えていきたいです。
3	感覚統合室やスヌーズレンルーム等、障がいの特性に配慮した活動ができる設備が整っています。	感覚面や身体機能への配慮が必要な子どもに対して、個別に対応できるよう、必要に応じて設備の利用ができます。	発達や特性に合わせて根拠のある支援が提供できるよう、研修等を積極的に行い、職員のスキルアップ、専門性を高めていきたいです。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所の利用をご希望されている方が多くいらっしゃいますが、現時点で利用をお待ちいただいている方がおります。	療育を必要としている方のニーズに対応できかねる心苦しさがありますが、職員体制、活動スペースの不足により、受け入れが難しいことが現状です。	外来相談やふたば教室、保育所等訪問支援を利用していたり、支援をつないでいます。
2	支援スペースや設備が不足が課題になることがあります。	ほとんどのお子さんが地域の保育施設等と併行して利用しているため、日々の利用人数に変動があります。人数やお子さん同士の相性によっては同じ空間で活動することに困難を生じる場合もあります。	活動やお子さんの特性に合わせた小集団のグループ分けやパーティションを利用する等スペースを確保する工夫をしています。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	イーハートブ養育センター					公表日	令和 7年 2月 25日		
					利用児童数	45		回収数	45
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	44	1	0	0	・利用する子どもの数が増えているようなので、クラスの部屋が手狭なのかなと思います。 ・十分だと思う。	・ご利用いただいている児童数は増えております。人数を見ながら、グループを分けるなどの対応を取らせていただいております。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	42	1	0	2	・適切だと思う。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	44	0	0	1	・わかりやすい。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	44	1	0	0	・仕方のないことだが、髪の毛が落ちて いることがある。 ・とても良い環境だと思う。	・衛生面につきましては、これからも清潔に保てるよう努力を行ってまいります。	
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	44	0	0	1	・理解してくれている。		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	43	0	0	2	・良いと思う。		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	45	0	0	0	・理解して計画してくれている。		
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	44	0	0	1	・適切に設定されている。		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	43	0	0	2	・思います。		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	43	1	0	1	・工夫されています。		
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	27	4	1	3	・コロナ禍もあったので、なくなったと思いますが、少しずつ機会を増やしてほしいと思う。 ・ありました。	・コロナも落ち着いてきましたので、保育園交流を増やせばと考えております。	
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	44	0	0	1	・ありました。		
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	45	0	0	0	・されました。		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	41	3	0	1	・もう少し研修会などがあればいいと思います。 ・行われました。	・親と先生の会で研修を企画しておりますが、回数についてはニーズに合わせて対応させていただきたいです。ご意見等ございましたら、ご相談いただければ幸いです。 ・クラス懇談会でも研修を実施しております。今後はより分かりやすくお知らせできるようにしたいと思います。	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	44	0	0	1	・逐一連絡をくれ助かっている。 ・思います。		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	43	0	0	2	・行われています。		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	44	0	0	1	・よく支援されていると思います。		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	30	10	1	4	・一人づつのため。 ・兄弟同士の交流会の機会もあたら参加させたい。 ・感染症の流行で難しいと思いますが、保護者会の回数が増えるとうれしい。 ・兄弟同士の交流はコロナ流行等で、なかなか難しかったと思うので、今後できるといいと思う。 ・コロナも落ち着いたので、もう少し交流の場があってもいいと思うし、兄弟同士の交流はまだないのでぜひやってほしい。 ・兄弟向けの相談窓口がよくわからず悩んでいる保護者の方もいると思うので、長期休暇を利用してイベントを企画してほしいと思います。	・たくさんのご意見ありがとうございます。コロナ以降、兄弟同士の交流などはあまり行っていませんでしたが、今後要望があれば検討をしてみたいと思います。保護者会につきましても、開催日程も含めて、親と先生の会で話し合っていきたいと思っておりますので、ぜひご参加いただき、ご意見をいただければと思います。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	42	2	0	1	・迅速に対応してくれます。	
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	44	0	0	1	・思います。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	39	2	0	4	・クラス活動のおたよりが、どんなことをしているのかわかるので、楽しみにしている。 ・ホームページを見ていません。	・評価表につきましては、毎年公表をしておりますので、ご覧いただけるとありがたいです。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	42	1	0	2	・思います。	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	34	2	0	9	・訓練されているとは思いますが、マニュアルの周知に関してはわかりません。 ・されています。	・訓練につきましては、毎月実施しておりますが、マニュアルの周知については不十分な点があると思われまので、今後周知徹底できるよう検討させていただきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	36	1	0	8	・行われています。	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	41	1	0	3	・思います。	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	39	0	0	5	・思います。	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	44	0	0	0	・親にとっても安心できる場所になっています。ありがとうございます。 ・とても安心してしています。	・ありがとうございます。今後とも安心していただけるよう努めてまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	43	0	0	1	・ほとんどそうだと思います。ごくたまにネガティブ発言などがありますが、 ・毎日とても楽しそうに通所しているので、親も安心して預けられる。 ・とても楽しみにしています。	・ありがとうございます。今後とも子どもたちが楽しんで通所できるよう、勉強を重ねたいと思います。
	29	事業所の支援に満足していますか。	44	0	0	0	・親子共々安心しており、子どもは自分の居場所としてとても楽しんでます。 ・大満足です。	・ありがとうございます。今後とも支援にご満足いただけるよう、研修を重ねてまいります。

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	イーハートブ養育センター		公表日 令和 7年 2月 25日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	6	<ul style="list-style-type: none"> ・活動時間を分けて、小集団で行うようにしている。 ・二部屋に分かれて少人数で過ごすなど、工夫している。 ・利用日を考慮してロッカーを共用したり、その日の利用人数に応じて部屋を流動的に使用する工夫がされていると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人数や子ども同士の相性によっては、一部屋にすることが難しいことがある。 ・クラス活動スペースを二つ用意しているが、設備の不足面を感じる。 ・感覚統合室を指導室として使用することもある。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	11	2	<ul style="list-style-type: none"> ・クラスで職員が足りない時は、他クラスから手伝いに入ってもらうなど、適切である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人手の不足を感じる時は、活動内容を安全に配慮して行っている。 ・他クラス職員の協力を得ながら支援にあたる日があった。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	13	0	<ul style="list-style-type: none"> ・支援前後に情報共有をして、支援の統一を図るようにしている。 	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	13	0	<ul style="list-style-type: none"> ・特性に合わせた環境構成を心がけている。(運動、机上課題等の設定) 	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	13	0		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	13	0		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	13	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	13	0		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	13	0		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	13	0	<ul style="list-style-type: none"> ・研修に参加することで、スキルアップをすることができ、支援に生かせていると思う。 ・午前保育日を設定し、職員みんなで研修できたのは良かった。 	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	13	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	13	0		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	13	0		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	13	0	<ul style="list-style-type: none"> ・支援に入る前に確認をし、目的を持って支援をするようにしている。 	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	13	0		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	13	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	13	0		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	13	0	<ul style="list-style-type: none"> ・個性や特性、また季節に合った活動プログラムを設定するように心がけている。 	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	13	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	12	1	・ホワイトボードにその日の活動の流れや連絡事項が書いてあるので難しい。 ・ホワイトボードを活用し、伝えそびれがないようにしている。	・活動日によって、十分行われていない日もある。個々に役割を確認することもある。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	13	0	・共有したことをクラスリーダーが連絡事項を書くホワイトボードに記載してくれるので、クラス担任全員で認識することができる。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	13	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	13	0		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	13	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	13	0		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	13	0		・お互いの立場により、共有が難しい支援についても丁寧に伝えるようにしていきたい。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	13	0		
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	13	0		・他事業所を見学させていただき、勉強になったと同時に、お子さんの様子についても情報共有することができた。
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外務研修に参加させているか。	13	0		
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	13	0		
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	13	0		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	13	0	・子どもの様子をお伝えする時は、言葉を丁寧に使っていきたい。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	13	0		・懇談会で行うことができたが、時間設定が短かった。
		35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	13	0	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	13	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	13	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	13	0		

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	12	1		・全体では行っているが、担当職員以外父母の会に参加することが少ない。 ・兄弟支援については、検討が必要。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	13	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	13	0		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	13	0		
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	13	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	12	1		・コロナが5類に移行し、少しずつ行っていると思う。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	13	0		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	13	0		・保護者の方に周知されていると思うが、理解をしていないお家の方もいるかもしれないと思うことがある。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	13	0		
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	13	0		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	13	0		
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	13	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	13	0		
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	13	0			
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	13	0			